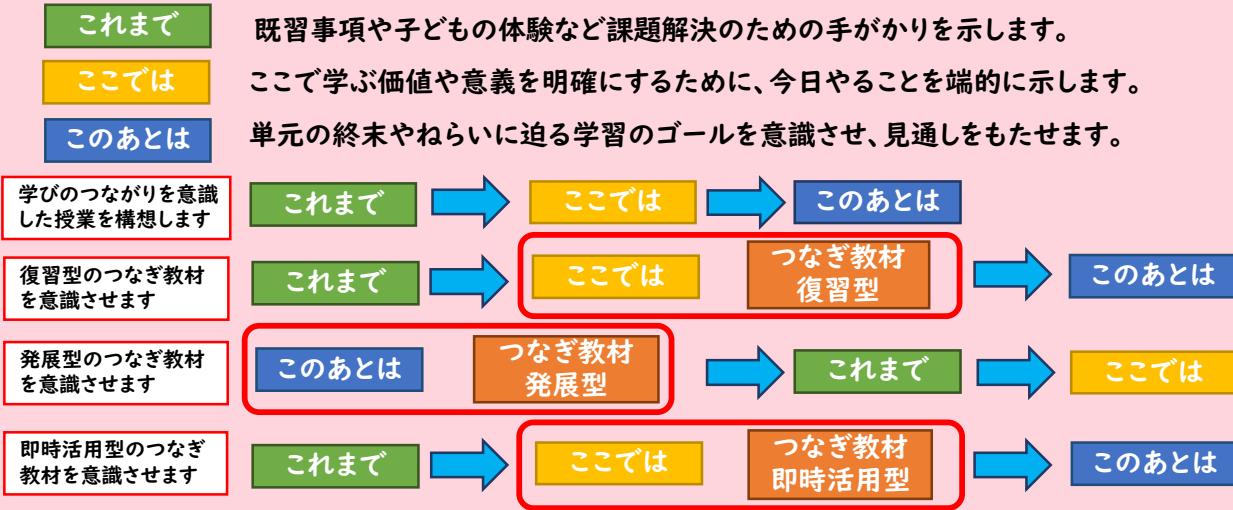


# 「笑顔」と「やる気」と「希望」の藤岡教育の推進

エージェンシーを発揮する自立した学習者へ(主体的・対話的・深い学び)  
～令和7年度藤岡市 子ども主体の授業づくり～

## ◇学びのつながりを踏まえた授業づくり

### ○「これまで・ここでは・このあとは」のプレートを貼りましょう



## ◇子どもの主体的な学習を促すつなぎ教材の活用

### ○つなぎ教材を活用し、子どもの主体的な学びを促しましょう

#### つなぎ教材の3つの型を意識

- 1 復習型……前学年、前単元の学習内容、昨日の学習、宿題など
- 2 発展型……完成した姿、去年の児童生徒の作品、一流選手のプレー手本など
- 3 即時活用型…模型や図(回路図など)、友達の意見、考え、日常生活につながる出来事など

## ◇やる気の生徒指導

### ◇生徒指導実践上の4つの視点 (自己決定、自己存在感、共感的な人間関係、安全・安心な風土の醸成)で児童生徒の意欲を高める

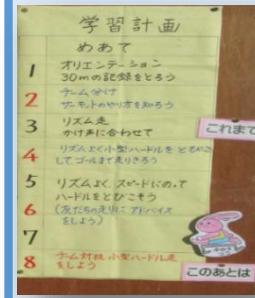
#### ○ネームプレートを貼り、子どもの活躍を可視化しましょう

<b>○自己決定</b> 「ねらいにかかわる大事な場面で、自分で決める」 ・根拠をもち自分の考えを決めさせる ・授業に参加している証として、決めたことを板書で確認させる	<b>○自己存在感</b> 「一人一人が認められ、活躍できる」 ・意図的に指名をするなど、授業の中で子どもを生かす ・子どもの考えを板書で見える化し、一人一人の存在を大切にす	<b>○共感的人間関係</b> 「互いに認め合い、共に努力する」 ・考えを共有し、お互いのよさを認め合う場面を取り入れる ・児童生徒の発言をつなげ、学び合いや交流を板書で示す
---	--	--

**○安全・安心な風土** 「よさを認め・ほめ・伸ばす雰囲気をつくる」  
・お互いの個性や多様性を認め合える教室にする ・間違っても大丈夫と安心して発言できる関係をつくる

## ◇主体的な学習を促す授業づくりのポイント

導  
入  
場  
面



### ◇学習の見通しをもたせましょう

- 実物などで単元のゴールの姿を示し、子どもが見通しをもって取り組めるようにしましょう。
- 学習計画表等を活用し、学習内容等を子どもと共有しましょう。

### ◇子どもがワクワクする課題を設定しましょう

- 子どもが、学びたい、解決したい、必要感のある課題(めあて)を設定しましょう。
- 学習計画表等をもとに本時の「めあて」を子どもと一緒に作りましょう。

展  
開  
場  
面



### ◇自己決定する機会や場面を増やしましょう

- 学習のねらいを達成するために課題の選択、調べ方、まとめ方など子どもの自己決定できる機会や場面を増やしましょう。

### ◇ひとりで思考する(任せる)時間を確保しましょう

- つなぎ教材をヒントに自分の考えをもたせましょう。
- 考えの整理に板書とノートとICTを活用しましょう。



### ◇目的のある学び合いを取り入れましょう

- 自分の考えをもたせてから学び合いをさせましょう。
- 学び合いの目的を明確にして、ペア、グループ、クラス全体等の形態を工夫しましょう。
- ICTを効果的に活用し、自己調整能力を高めましょう。



ま  
と  
め  
・  
ふ  
り  
か  
え  
り  
場  
面



### ◇学習した結果等大切なことは子どもに発言させましょう

- 個→集団→個にもどし、学び合い後にもう一度、ひとりで考えを広げたり深めたりする時間を確保しましょう。
- 「めあて」を踏まえた「まとめ」「ふりかえり」を自分の言葉で書かせたり、発表させたりしましょう。(ノート指導の充実)

### ◇「わかった!できた!」と実感できるふりかえりをしましょう

- 「ふりかえり」の場面で学習を一般化したり適用問題に挑戦させたりして、子どもが「わかった!できた!」と実感できるようにさせましょう。
- 複線型の課題(基礎・発展・応用等)を準備し、できた子どもを待たせない工夫をしましょう。



# 藤岡市の特色ある教育活動

## 小中一貫教育

○9年間を通した系統的なカリキュラムを作成し、学びの連続性と生徒指導の継続により学力の向上を目指す。

## コミュニティ・スクール

○学校運営協議会を組織し、地域学校協働本部との一体的推進により、地域とともにある学校づくり、児童生徒の学力の向上を目指す。

## 高山社学

○興味・関心をもとに地域学習を進め、活用の能力を身に付けさせる。  
○高山社の歴史的価値について学び、郷土を誇りに思い、愛する子どもの育成を図るとともに、持続可能な藤岡市を目指す。

## 算学塾

○算数・数学の面白さを実感させ、様々な問題に意欲をもって挑戦できるようにする。  
○既習の知識等を活用して、自ら課題解決ができる子どもを育てる。

## サマーイングリッシュチャレンジ

○英語が「わかる」「伝わる」という経験を通して、英語の楽しさに触れ、生涯にわたって英語を学ぶ意欲を高める。

## 教育フェスタ

○「理科自由研究」「ふるさと藤岡郷土研究」の中で、それぞれが考えた課題について調べたり、まとめたものを発表したりすることを通して、表現力を育成する。

## 英語教育の充実

○小学校低学年から外国語活動を実施して、ALTとふれあう体験を通して生の英語に触れさせ、小学校中学年・高学年、そして中学校へと、系統的な学習を展開する。  
さらに、カナダ・リジャイナ市とのホームステイにおける相互交流を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもを育てる。

## チャレンジウィーク

○地域の協力を得て行う5日間の職場体験を通して、自分の将来に夢と希望と情熱を持ち、自分なりの「生き方」を見つめられるようにする。

## いじめ問題解決に向けた取組

○いじめ問題解決に向けた子ども会議や教育懇談会の実施を通して、子どもたちが主体的にいじめ問題を解決する態度を育てるとともに、いじめ防止担当教員を核とする学校・保護者・地域・教育委員会が、連携・協力していじめをなくすための基盤をつくる。

## 読書・ICT利活用

○学校での朝読書により習慣化を図り、家庭でも「家読(うちどく)の日」を中心に、読書する環境をつくることを呼びかけ、家庭と学校が連携して、子どもたちが読書に親しむ習慣を育てる。また、情報モラル教育を推進し、メディアとの正しい関わり方を身に付けると同時に、授業等でICTを積極的に取り入れ、有効に利活用できる子どもを育てる。

## 誰一人取り残さない教育の推進

○特別支援教育の充実・不登校児童生徒へのきめ細やかな支援

学力の向上

活用する力の育成

世界にはばたく人材の育成

キャリア教育の推進

思いやりの心の育成

読書とICT利活用の推進

特支・不登校支援の推進

# 令和7年度 藤岡市の学校教育

## 笑顔、やる気、希望に満ちた子どもたち

### 小中一貫教育の充実

～一貫した目標・方法で学力向上を目指して～

- (1) 学びの連続性  
「これまで、ここでは、このあとは」を踏まえた系統的な授業実践
- (2) 生徒指導の継続  
生徒指導の4つの視点を生かした意欲を高める指導の継続
- (3) 一貫校としての教科部会と校内研修  
系統表の活用、教科の重点の共有、計画訪問の活用
- (4) 小学校の教科担任制や兼務教員による複数小学校での指導
- (5) 小中学校兼務教員による乗り入れ授業

## 目指す子ども像・目標の共有 9年間を見通した社会に開かれた教育課程

### コミュニティ・スクールの推進

～学校・地域の協働で子どもたちの笑顔を目指して～

- (1) 学校運営協議会での承認・熟議
  - ・学校運営方針・教育課程編成及び実施の承認
  - ・学力向上・学校課題の解決策・対応策の熟議
  - ⇒評価部・広報部・連携推進部による組織的な取組
- (2) 地域学校協働本部との一体的な取組による教育活動の充実
  - ・熟議した解決策を地域学校協働活動推進員が地域ボランティアにつなぐ
  - ⇒[学年・学級経営、教科指導・読書][郷土学習・地域との交流][キャリア教育][安全教育] 4つの部会での組織的な取組